

認知症作業療法 活動報告（概要）

島根県作業療法士会は、会員数**503**名・所属施設数**132**(平成**30**年**7**月**20**日現在)で構成されています。平成**30**年度は、島根県内各地域に認知症作業療法推進委員を配置できるようなメンバーを**15**名に増員しました。活動の目的として、①認知症作業療法士の人材育成②地域での県士会員の活動の場の創出とし、アップデート研修の継続開催、認知症研修会開催、地域や行政、認知症家族の会との連携、**Run**伴への参加など取り組みを行っています。

認知症アップデート研修(7月22日、10月28日：予定)

平成**30**年度認知症アップデート研修、昨年度に引き続き島根県東部・西部で計**2**回の実施を考えています。講師担当も変更し、委員自体のスキルアップも兼ねて実施しています。現時点で参加者は、**147**名で全県士会員の約**29**%に受講して顶けました。また、今年度から、アップデート研修に併せて、認知症家族の会の方の講演や認知症サポーター養成講座なども企画し、参加者の方からの満足度も高い研修が実施できました。



認知症研修会の実施(11月25日：予定)

認知症の人の生活支援推進委員会理事小川敬之先生に講師をして頂き、県士会員、他職種、学生を対象とした認知症研修会を企画しています。認知症を持たれた方と私たちができる事についてというテーマでこれらからの私達の動き方について建設的な研修会となるよう企画を考えました。



地域や行政、認知症家族の会との連携

認知症作業療法推進委員のメンバーが中心となり、所属する地域のオレンジカフェへの参加(松江・出雲地域)行政の主催する認知症予防研修への講師参加(浜田・津和野地域)認知症家族の会の方と共にアルツハイマーデー啓発イベントへの参加(大田地域)を行いました。



島根Run伴への参加(10月21日)

島根県作業療法士会会長が実行委員長となり他職種と連携しながら「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して認知症の人と家族の会・他職種・行政・一般の方と連携しながら活動しています。

また、認知症の作業療法についても、広報活動を実施しました。



島根エリア

今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修の継続と研修内容の質の向上
- ・ 行政や家族会との連携をどのように活用・展開していくかの検討
- ・ オレンジカフェ等継続した作業療法士派遣の為のシステム作り
- ・ 島根県における県士会認知症作業療法推進委員としての方向性の検討